



兵庫県佐用町



〒679-5380

兵庫県佐用郡佐用町佐用2611-1

担当課：健康福祉課

☎0790-82-0661 FAX0790-82-0146

http://www.town.sayo.lg.jp/

Eメール：fukushi@town.sayo.lg.jp

本町のデータ

(1)面積 307.514km²

(2)人口 (人)

17国調	22国調	平25.6.30住基
21,012	19,265	19,071
65歳以上人口比率(22国調)		34%

(3)世帯数

17国調	22国調	平25.6.30住基
6,515	6,301	7,077

(4)沿革

平17.10.1合併
佐用町 上月町 南光町 三日月町



(5)産業構造

区分	就業人口	
	17国調	22国調
1次	1,165人	647人
	11.7%	7.1%
2次	3,126人	2,609人
	31.5%	28.8%
3次	5,590人	5,340人
	56.4%	58.9%
計	9,915人	9,062人

本町の概要

「ひと まち 自然がきらめく 共生の郷 佐用」

佐用町は、兵庫県西部に位置し、中国山地の東端部に連なる西播磨山地を源として千種川水系が南北に流れています。緑豊かで清らかな水辺にはホタルやメダカが生息し、大撫山の山頂から眺める霧海や夜空に瞬く満点の星、南光地域のひまわりを代表とする多彩な花の名所など豊かな自然が織り成す美しい環境を形成しています。

また、宿場町として栄えてきた平福の町並みなどの歴史資源のほか、生命科学・医療分野では、世界最高性能のSpring-8のある播磨科学公園都市があります。



【日本の棚田百選に選定されている乙大木谷の棚田】



【全国農村景観百選に選定されている南光地域のひまわり畑】

さらには、宇宙の神秘を実感できる公開施設として世界最大級の望遠鏡のある西はりま天文台もあり、地域内外の生涯学習拠点となっています。

名産・特産品として、もち大豆、ひまわり油、そばなどが地域ブランドとなっています。また、ホルモン焼うどんやしかコロッセなどB級グルメも人気があります。

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

町内に精神科の専門医療機関がないため、保健師が中心となり精神疾患の正しい知識・理解を深め、早期発見・早期治療につなげるための普及啓発に取り組んでいる。

また、高齢化が急速に進む中、高齢者を対象とした相談・支援体制を強化し、高齢者の精神保健福祉の向上を図る。

<具体的な取組み>

【相談】

・こころのケア相談(年6回)
→専門医・保健師による相談。

・産後うつ相談(随時)
→「エジンバラ産後うつ病質問票」の結果によりうつの疑いのある母親に対して、臨床心理士による相談。

・もの忘れ相談(年9回)
→高齢者やその家族に対して専門医による相談。

・こころの健康づくり相談(年9回)
→就学後、特別な支援が必要と思われるこどもの保護者や教育関係者に対して、小児精神科医による相談。

・消費生活相談(平日業務時間)
→消費生活全般に関する相談。

・納税相談(月1回)
→税の納付が困難な方に対する相談。

・無料弁護士相談(年8回)
→弁護士による契約・多重債務など法律に関する無料相談。

・訪問事業(随時)
→精神疾患や身体の健康に不安のある住民に対して、保健師の家庭訪問。

・デイケア(月2回)
→回復途上にある精神障害者に対して、社会参加の場を提供し、集団活動を通じて対人関係の改善や自己表現の向上を図り、社会生活の適応性を高める。

【啓発】

・こころのケア講演会(年1回)
→一般住民に対し、精神疾患の知識の普及・理解を深める。

H24年度『こころの健康への理解を深めよう』
講師:赤穂仁泉病院 院長 深井光浩

・リーフレット、健康チェックカードの作成、配布

・啓発封筒作成

